

保育機能施設型認定こども園

Fuji こどもの家 **バンビーノの森**

2021年度 生徒募集のご案内

「バンビーノの森」は、ひとつの私立幼稚園が閉園することをきっかけに、理想の子育てと幼児教育の場を追求し始めた父母たちにより、2007年4月に始まった認可外保育施設です。10年目にあたる2016年8月に“保育機能施設型認定こども園”として認定されました。

“森のようちえん”と“モンテッソーリ教育”を主体に、自然と育む「智」「徳」「身」を建学の精神として活動しています。

ひとりひとりを大切に、子どもたちが本来持っている力を最大限引き出すよう、保育者と家族が連携し「子どもたち」を支援して行きます。

どうぞ、一緒に！

2021年度募集園児定員 3歳児 12名（1号認定8名・2号認定4名）

園児募集説明会 9月11日（金）10:00～ ・ 9月13日（日）13:30～

申し込み 入園申込書を記入の上、入園申込金を添えて持参してください
10月5日10時より 受付開始 *1次締切 10月28日（水）

入園決定 簡単な面接 および 居住市町村での教育・保育認定により決定

入園の案内 入園準備説明会（2月上旬頃）

見学週間 8月31日（月）～9月4日（金）9:00～15:00（予約制）

ご不明な点やご心配なことがございましたら、お気軽にお問合せください。

☆ ホームページ・ブログ随時更新中 ☆

ブログ“森のごきげん”で毎日の様子が分かります。 <http://www.bambino-mori.co.jp>

お問合せ・お申込み

保育機能施設型認定こども園 Fuji こどもの家バンビーノの森

山梨県南都留郡富士河口湖町勝山3407-1

TEL 0555-72-9995 FAX 0555-72-9996

E-mail info@bambino-mori.co.jp



Fuji こどもの家

バンビーノの森

入園のご案内

名称	認定こども園 Fuji こどもの家バンビーノの森
運営主体	株式会社バンビーノの森 代表：朝比奈茂
場所	山梨県南都留郡富士河口湖町勝山3407-1 及び 周辺の山林
開園日時	月～金曜日 8時～17時
休園日	1号認定 土日祝祭日、春・夏約1週間、冬約2週間、湖上祭、職員研修 2号認定 土日祝祭日、お盆3日、年末年始(12/29-1/3)、年度末(3/31 又は 4/1)
保育時間	1号認定 9時～15時(15時30分から延長保育)・時間外保育あり 2号認定 8時30分～16時30分(保育短時間認定)・時間外保育あり
クラス	満3歳～6歳 異年齢混合クラス
保育内容	森を中心とした野外活動(原則として雨でも) 室内活動(モンテッソーリ教育)
入園申込金	10,000円 (検定料・慣らし保育2回・事務手数料等)
保育料	幼児教育保育の無償化対象施設
昼食	主食持参 *料理の日・おむすびの日・お弁当の日あり 手作り給食 1食360円(税別) 又は お弁当 *居住市町村により副食費補助あり
その他費用	施設整備費(入園金相当)1,500円/月、教育充実費(教材費含)3,000円/月、 暖房協力費(10月～3月)500円程度(月)、行事費など(税別)
体験入園	楽しく通園できるように、入園前に慣らし保育が受けられます。
服装等	制服はありませんが、野外活動の為に上下別のカッパ・リュック等と、年長時に 地下足袋が必要となります。
アフター スクール	ご希望により週2回ネイティブスピーカーの講師による、英会話のレッスンが 受講できます。

森づくり隊(保護者任意参加) 随時開催

園舎や活動場所の整備、森のブランコ・倒木のシーソー・小枝の基地作り、
お父さんたちが子どもの頃になえられなかった夢を実現させたり、地域の森林
環境を考えたり、パパ達が子育て談議を楽しむ、森作りを一緒にしませんか

バンビーノの森

～建学の精神～

自然と育む 「智」 「徳」 「身」

～教育目標～ バンビーノの森がめざす子ども像

- ◎自分で考え 自分で行動できる子ども
- ◎自分も 人も 地球も 慈しむ子ども
- ◎心も 身体も しなやかに 健康で たくましい子ども

～教育内容～

森のようちえん

1950年代半ば頃、最も多感な幼児期に、子どもを自然環境の中で育てたいというデンマークのひとりの母親の思いから「森のようちえん」は始まったものだと言われています。園舎がなく備え付けの遊具もない、「森」そのものが、遊び場であり、学び場であり、成長の場です。こうした考えや行動がデンマークからドイツ、スウェーデンなどへ広がりました。そして日本においても、子どもたちの体験不足や体力低下が叫ばれるなか、幼児期の自然体験活動が心身の発達にもたらす効果が注目され、「森のようちえん」の活動が広がってきています。1年を通じ自然の変化を感じながら、遊びを見つけ、創り出す、そこでは人間同士だけでなく、人と自然も協調し思いやる心が育まれます。

幼児期に自然の中でたっぷり活動をした子どもたちは心も身体も健康で、創造性・コミュニケーション力豊かに成長し、自信と責任を持って行動できると信じています。

また、今の子どもたちが大人になるころ、自然環境への配慮は今以上に必要になってくると思われます。ここで幼児期を過ごした子どもたちは、将来にわたり自然への配慮を無理なく、当たり前のこととして行動できることでしょう。

モンテッソーリ教育

モンテッソーリ教育とはイタリアで女性初の医学博士となったマリア・モンテッソーリ(1870～1952)が始めた、教育界に最も大きな影響を与えた教育方法の一つです。

子どもは自らをより良く発達させようとする力を持っていて、発達段階で手を使いたい、言語を知りたいなど、ある特定の事柄に特別な感受性を発揮する時期があります。これを「敏感期」といい、この時期に本当にやりたいことに出会ったとき、子どもはその作業を繰り返し、集中します。作業の過程で得た集中力と達成感、満足感が子どもの人格形成にとっても良い影響を与えます。モンテッソーリ教育の内容は日常生活の練習、言語教育、数教育、感覚教育、文化教育など様々ですが、それぞれを教えるのではなく敏感期を見逃さずに支援してゆく活動です。

芸術活動

「バンビーノの森」では“絵画造形活動”と“身体表現活動”“陶芸”の専門の先生を年数回お招きし、日常の芸術活動のアドバイスを頂きながら子どもの心と感性を育てています。

Fuji こどもの家 バンビーノの森 保護者のこえ

年少児 母

入園以前、外遊びが相当不足しているという課題感を持っていたのですが、そんな中ある雑誌の記事でバンビーノが取り上げられているのを見ました。広大な森の中で思い切り遊び、そこから毎日多くを学び成長する在園児たちの姿を写真で見て「これだ！」という直感がありました。

現在、入園してからおよそ4ヶ月が経ちますが、その直感を信じて本当に良かったと思っています。何より以前よりも随分たくましくなりました。何事にも「まず自分でやってみる」という姿勢が見られ、親として頼もしく感じます。

また植物や昆虫など、自然に触れる機会が非常に多いことが素晴らしいです。所謂「学習」も勿論大事だと思うのですが、自然のイレギュラーさから得られる「学び」こそが、今の娘の年齢においては最も大切だと考えており、その点でバンビーノでの環境は大変ありがたく感じています。加えて、先生方には娘を本当によく見ていただき、良い距離感で接していただいていると感じています。親の相談にも快く乗っていただけることから安心感を持って通わせることができています。このような素晴らしい環境(自然面でも関わっておられる方々の面でも)の中でじっくりと成長を見守っていきたいと考えております。

年少児 母

コロナ禍ではありますが、園長をはじめ、職員の皆さまの安全対策への取り組みにより、毎日安心して子どもを送り出せる事に感謝でいっぱいです。初めての社会に飛び出した娘。情緒が不安定な日もあり、登園時に離れられず泣き崩れるたびに母として心が痛みますが先生の暖かな抱擁のお陰で気持ちを切り替えられ、信頼して預ける事が出来ています。目に見えての変化は、沢山食べ、良く眠る様になった事。園で思い切り活動している証だと思っています。毎日泥で汚れる洋服を洗うたびに汚れ具合を見ていると、今日はどんな森を楽しんできたのだろうか?と森で活動する娘の姿を想像しています。(笑)

お仕事で作ったネックレスやブレスレットは作るたびに精度を上げていくように思います。緻密な作業を飽きることなく続けられる集中力も養われているのだと思います。

又家庭でも、花を愛で花瓶に生けたり、小さな虫たちにも声を掛け踏まないようにと気に掛けたり、雨の音や水たまりを楽しんだりと変化はいたるところでみうけられます。

これからの園生活、新しい友となった同級生をはじめ、年中、年長のお兄さんお姉さん達と刺激し合いながら、心も体も沢山成長してほしいと思います。

年少児 母

雨の日が不安だったり、お友達とうまく遊べなかったりと、まだ不安もあるようですが、基本的には楽しく通えているようです。子どもから話を聞いたり、自分で園の様子を見て「バンビーノにして良かった」と思うことがいくつかあります。

ひとつは異年齢混合クラスという点です。入園してすぐ、子どもがうまく馴染めるか不安でしたが、送っていた時に私と離れられないでいると、上の年齢の子達が傍らに来て手をつないでくれたり、一緒に遊ぼうと声を掛けてくれたり、上の子達のやさしさに触れる場面が多くありました。また、着替え等を手伝ってくれたり、良く面倒を見てくれる印象でした。たくさんの優しさに触れ、自分がしてもらった分、お友達や下の子が入園してきたときにやさしくして挙げられる子になってもらいたいと思います。

もう一つは、毎日どこの森に行くか、ペアさんが休みの場合誰とペアになるか等、子どもたちだけで話し合い、子どもたちだけで決めるという点です。人の意見を聞き、自分も意見を発する、困っている子がいたら声を掛けてあげる。。。小さい時から毎日その時間があるという事がとても有意義だと感じています。また、お仕事の時間も毎日楽しいようで、持って帰るたびにどんなものを作ったのか、毎回とても楽しみです、成長も感じられて嬉しく思います。今から3年間、色々なことがあると思いますが、たくさんの経験を通して成長し、楽しい時間をたくさん過ごしてくれればと思います。

年長児 母

年長からこちらに通っています。活発な子ですので森で遊ぶのが楽しいだろうな。。。と親は考えていましたが、モンテッソーリのお仕事の方が楽しい!と言っていてビックリしました。2連びーズに今、はまっているらしく、作っては「母さん見て〜!」と見せてくれ、「わぁ〜かわいいのが作れたね」と言うとても嬉しそうで満足げな顔をします。

森では親からは想像できない様な年長さんらしい振る舞いをする事もあると先生からお聞きし、異年齢での保育で日々貴重な経験をさせて頂き、本当に感謝しています。先生方にはやんちゃな娘をいつも温かい目で見守って頂き、私も娘も安心して通う事が出来ています。



入園までの手続き

ようちえん 見学 未就園児対象の教室	8月下旬1週間(要予約) 年10回程度開催	見学週間 普段の子ども達の様子をご覧ください。 子育て支援講座「森で遊ぼう」などに参加して、 園の活動を実際に体験する事も出来ます。 ご連絡いただければ、随時見学も可能です。
↓		
募集要項・願書の配布 入園説明会	9月中旬	第1回説明会以降配布 園の教育方針などについて説明会があります。
↓		
入園願書の受付	10月5日 10時より 1次締切 10月28日	入園申込書・支給認定申請書・就労証明書(2号) と入園申込金をお持ちください。 空きがあれば、締切以降先着順に受付
↓		
申し込み多数の場合 抽選	10月30日 14:00~	1号認定の申込が定員を超えた場合に行います。 抽選の有無は締切日までにお知らせします。 2号認定は市町村の基準により判断されます。
↓		
入園内定	1号 10月末頃 2号 12月末頃	簡単な面接をおこないます。 市町村へ教育・保育認定申請を行う。
↓		
入園決定	1月頃まで (居住市町村による)	居住市町村にて教育・保育認定 *満3歳で入園(1号認定のみ)を希望される方は、 入園内定後11月1日から定員に空きがあれば入園可。
↓		
入園準備説明会	2月(予定)	入園後必要なものについての、説明会があります。
↓		
体験入園	2月・3月 (日程は後日)	4月の入園前にお友達といっしょに遊びます。 森1回・教室1回
↓		
入園式	2021年4月9日	森での入園式です。ご家族でご参加ください。 入園後1週間程度慣らし保育期間があります。 *2号認定は4月1日より保育可能

認定こども園 Fuji こどもの家バンビーノの森

園児募集・選考要項

- 次年度年少児の入園申込みは10月初旬に開始し、10月末頃に第一次締め切りとする。
- 定員に空きがある場合は、途中入園を受け付ける。(満3歳入園は11月1日以降)
- 入園申込みが学年定員を超えた場合は、1号認定・2号認定別に入園選考を行う。

選考基準は次の通りとする。

【1号認定入園選考基準】

1. 当園の建学の精神・教育目標・教育内容を理解していること
2. 兄妹が在園していること
3. 公開抽選による
4. 対象児の性別が学年定員の2/3以上に偏った場合は調整を行うことがある
5. 入園説明会に参加、及び園の見学をしている事
6. 申込締切後は先着順とする

【2号認定入園選考基準】

1. 当園の建学の精神・教育目標・教育内容を理解していること
2. 兄妹が在園していること
3. 居住地の市町村の基準による
4. 入園説明会に参加、及び園の見学をしている事

《1号認定抽選方法》

- 本年度の抽選は10月30日に行う
- 抽選の順序は申し込み順とする
- 落選には繰り上げ順序を付与する
- 抽選日に参加できない者は、抽選順を最後とし、園の職員が代理する
- 落選者の入園申込金は、事務手数料を除き返金する
- 落選者の申込書類一式は、その場で返却する
- 繰り上げ入園決定の場合は、入園金差額と書類一式を再提出する